

貸借対照表

ビー・ビー・バックボーン株式会社

平成 19 年 3 月 31 日

(単位 千円)

資産の部			
固定資産			
A 電気通信事業固定資産			
有形固定資産			
1	機械設備	116,073	
	減価償却累計額	66,751	49,321
2	線路設備	122,042	
	減価償却累計額	29,224	92,817
3	構築物	1,972	
	減価償却累計額	476	1,495
4	工具、器具及び備品	2,000	
	減価償却累計額	1,486	513
5	建設仮勘定		530
	有形固定資産合計		144,679
無形固定資産			
1	ソフトウェア		148
2	商標権		741
	無形固定資産合計		889
	電気通信事業固定資産合計		145,568
B システムコンサルティング業固定資産			
無形固定資産			
1	ソフトウェア		686
	無形固定資産合計		686
	システムコンサルティング業固定資産合計		686
C 投資その他の資産			
1	長期前払費用		855
2	敷金		2,473
	投資その他の資産合計		3,329
	固定資産合計		149,584
流動資産			
1	現金及び預金	181,025	
2	売掛金	18,737	
3	未収入金	74	
4	貯蔵品	5,180	
5	前払費用	94,166	
6	未収還付法人税等	1,126	
	流動資産合計		300,311
	資産合計		449,895
負債の部			
流動負債			
1	買掛金	18,351	
2	未払金	22,726	
3	未払消費税	9,998	
4	未払費用	4,412	
5	前受金	262,519	
6	賞与引当金	4,706	
	流動負債合計		322,715
	負債合計		322,715
純資産の部			
株主資本			
1	資本金	210,000	
2	利益剰余金		
(a)	その他利益剰余金		
	特別償却準備金	11,466	
	繰越利益剰余金	94,286	
	利益剰余金合計		82,819
	株主資本合計		127,180
	純資産合計		127,180
	負債・純資産合計		449,895

## 1 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### 1. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品 移動平均法による原価法によっております。

### 2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定額法によっております。

主な耐用年数は以下のとおりであります。

機械設備 5～9年

線路設備 10～21年

構築物 10年

工具、器具及び備品 5年

無形固定資産 定額法によっております。

なお、市場販売目的のソフトウェアについては、見込販売期間（3年以内）における見込販売収益に基づく償却額と販売可能な残存期間に基づく均等配分額を比較し、いずれか大きい額を計上する方法によっております。自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

### 3. 重要な引当金の計上基準

賞与引当金 従業員に対して支給する賞与の支出にあてるため、将来の支給見込額のうち当期の負担額を計上しております。

### 4. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

2 当期純損益金額 75,432 千円